

市町村名		与那原町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-① 与那原町魅力発信事業		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章—3—(2)—(イ)		
	担当部署名		事業実施(予定)年度		市場特性に対応した誘客活動の展開		
担当部署名		観光商工課	平成26年～令和3年度	沖繩振興基本方針該当箇所	Ⅲ—1—(1)		
事業内容							
本町の魅力を県内外に広く発信するため、一年を通して各種イベントを実施し情報発信を行う。また、イメージキャラクター等のプロモーション及び観光促進コンテンツを制作し、本町のイメージキャラクター及び観光PRを通して観光客誘致を図る。							
効果発現年度							
■当年度 □後年度(年度)							
実施方法							
■直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	22,540	84,055	60,380	54,519	18,665
		(b) 予算現額	17,840	38,461	58,367	45,845	6,160
		(c) 増減額(b-a)	▲ 4,700	▲ 45,594	▲ 2,013	▲ 8,674	▲ 12,505
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		17,840	38,461	58,367	45,845	6,160
	B. 執行済額		16,923	36,591	57,187	41,975	6,015
	うち交付金充当額		13,538	29,273	45,749	33,580	4,812
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		94.9%	95.1%	98.0%	91.6%	97.6%
予算の状況の説明		令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から大綱中止となったことに伴い、▲12,505千円の減額を行った。なお不要額145千円については入札残等によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	各種イベント(地域活性化イベント)	目標	()	(5回)	(2回)	(1回)	
		実績		5回	2回	1回	
	イメージキャラクター等プロモーション推進	目標	()	(1式)	(1式)	(1式)	
		実績		1式	1式	1式	
	観光促進コンテンツ制作	目標	()	()	(コンテンツ制作)	()	
		実績			コンテンツ制作		
	大綱曳PR資料作成	目標	()	()	(1式)	()	
		実績			1式		
与那原大綱曳まつり運営補助	目標	()	(1式)	(1式)	()		
	実績		1式	1式			
与那原大綱曳PR事業事業実施	目標	(3回)	()	()	()		
	実績	3回					
記念碑の設置	目標	(1式)	()	()	()		
	実績	1式					
達成状況説明		・補助金の交付団体である「与那原地区社交飲食業組合」では、新たな顧客の獲得と組合の活性化を目的とし、組合に加盟する店舗をめぐる商品を獲得する「スタンプラリー」イベントを実施した。 ・イメージキャラクター等プロモーション事業においては「つなひきちゃんオリジナル衣装制作」、「プロモーション動画制作」、「LINEスタンプ制作」、「商標登録業務」、「コロナウイルス対策啓発ポスター制作」、「バベット制作」、「PR動画制作」、「オリジナルシール制作」など、様々な制作業務を行いイメージキャラクターのプロモーション業務を行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	与那原大綱曳まつりの誘客	目標	()	(18,800人)	(24,000人)	()	()
		実績		19,099人	68,000人		
	与那原大綱曳まつりの満足度	目標	()	()	(70%)	()	()
		実績			72%		
	その他事業で誘客	目標	()	()	(4,000人)	()	()
実績				0人			
社交飲食業組合スタンプラリー参加者数 600名	目標	()	()	()	(600人)	()	
	実績				659人		
進捗状況説明		・「与那原大綱曳まつりの誘客、満足度」の目標については新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から大綱中止となったことに伴い、成果目標から外した。 ・補助金の交付団体である与那原地区社交飲食業組合では「スタンプラリー」イベントを実施し、659人の方がスタンプラリーのイベントに参加し、参加者が店に来店した総数は延べ2,617回となった。また、新規組合員が26店舗加入するなど、社交飲食業組合の組織強化にもつながった。					

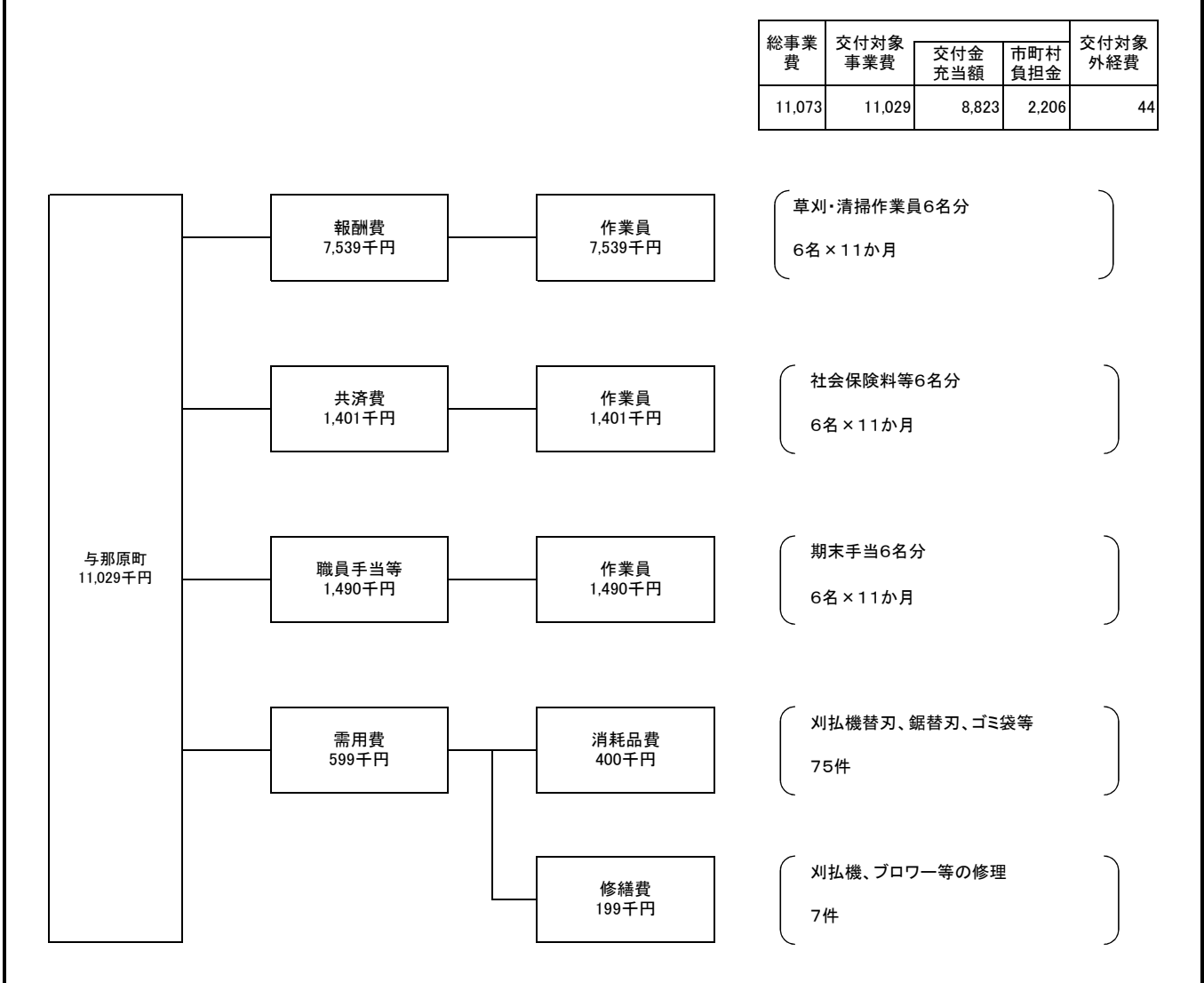
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・イメージキャラクタープロモーション事業においては、町内の保育園、幼稚園や小中高校、大学の様々なイベントに参加しプロモーション業務を行っている為、認知度も上がり人気も出てきているが、町内高齢者向けや町・県外のプロモーション活動が弱く認知度が低い。</p> <p>・今回で4回目の開催となる「スタンプラリー事業」は、年々参加店舗も増えてきており、盛り上がりの兆しは見える。参加者も目標の600人を上回る659人となった。事業が単調にならないように内容を精査する。</p>	<p>・与那原町のイメージキャラクターを町外・県外にアピールするにはプロモーション活動だけでは厳しい。商標登録をフリーにして各企業が製造している製品のパッケージや看板・広報等に利用して頂くなどの提案をしつつ、「与那原町イメージキャラクター等プロモーション推進委員会」の中で検討していきたい。</p> <p>・「スタンプラリー事業」を開催する際に「経営者」「参加者」から多くの意見が寄せられている為、その内容を精査し事業がマンネリ化しないように与那原地区社交飲食業組合と協議していきたい。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>・老若男女問わず親しまれる「イメージキャラクター」を確立するために、学校関係のイベントだけではなく、各自治会のイベント、敬老会や老人ホーム老健施設等のイベントにも積極的に参加するなど、より一層プロモーション事業に力を入れていきたい。また、商工会の協力も得ながら、各企業が製造している製品のパッケージや看板・広報等に活用して頂けるように働きかける。</p> <p>・今まで開催してきたイベントを見直し、コロナ禍でも開催可能なイベントを模索する。</p> <p>・今後も「与那原町観光実施計画」の重点施策の3本柱である「Ⅰ. 大綱曳、Ⅱ 水路、Ⅲ. MICE」を主軸として、効率的で持続可能な事業を実施する。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	6,015	6,015	4,812	1,203	0
与那原町 6,015千円	報酬費 1,584千円	会計年度職員	会計年度職員1名分		
	共済費 267千円	会計年度職員	会計年度職員1名分		
	職員手当 274千円	会計年度職員	会計年度職員1名分		
	需用費 92千円	事務消耗品費 92千円	イメージキャラクターのぼり購入 カラープリンター・トナー購入 廃トナーボックス		
	委託料 2,898千円	沖縄広告株式会社 2,898千円	与那原町イメージキャラクター等プロモーション推進業務		
	補助金 900千円	与那原地区社交飲食業組合 900千円	イベント運営補助(スタンプラリー)		
資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明		
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、本町の契約・会計規則に基づき、見積りによる競争や指名競争入札、プロポーザルにより選定しており適正である。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○複数見積等により予算を確定しており予算規模は妥当と考える。		
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については、「与那原町地域振興推進事業交付金交付要綱」に定める交付率に基づいており、負担関係は妥当であると考えます。		
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については実施段階で十分な検討を重ねており、目的に即した真に必要なものとなっている。		

市町村名		与那原町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	観光地美化・緑化きれいなまちづくり事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ)	
担当部署名	まちづくり課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	本町を訪れる観光客等の満足度を向上させるため、散策コースの環境美化(剪定・除草・植栽整備等)を実施し、観光地としてふさわしい景観及び環境を創出する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a)当初予算額	11,907	26,346	39,757	13,658	10,546
	(b)予算現額	11,007	24,647	33,907	11,636	11,098	
	(c)増減額(b-a)	▲900	▲1,699	▲5,850	▲2,022	552	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	11,007	24,647	33,907	11,636	11,098	
	B.執行済額	10,703	22,798	32,858	11,530	11,029	
	うち交付金充当額	8,562	18,238	26,286	9,224	8,823	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	97.2%	92.5%	96.9%	99.1%	99.4%	
予算の状況の説明		当初予算から、計画日数の見直しによる報酬費及び職員手当等並びに共済費の金額見直しにより、合計522千円の増額。不用額69千円については、報酬費の日単価に満たない執行残と交付対象外経費である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	散策コース(10km)環境美化作業員配置6名		目標 (8名)	(8名)	(8名)	(6名)	
			実績	8名	8名	6名	
	【参考指標】町内各所への花木の植樹		目標 (緑化工事0.5km)	(プランター設置工事実施)	(花苗植樹の実施)	()	
			実績	緑化工事0.5km実施	プランター設置工事完了	花苗植樹の完了	
	【参考指標】散策コース周辺整備設計業務委託		目標 ()	(詳細設計業務実施)	()	()	
			実績		詳細設計業務完了		
	【参考指標】散策コース周辺整備工事		目標 ()	(整備工事実施)	()	()	
			実績		整備工事完了		
達成状況説明	・散策コースを作業員6名により定期的に美化清掃を繰り返すことで、環境の美化を維持することができ、散策コースを気持ちよく回遊できる景観及び環境を整えることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	・本事業(剪定・除草・植栽整備等)による環境美化の散策コースについて、観光客と地域住民にアンケート調査を実施し、「観光地としてふさわしい景観及び環境である」(80%)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	81.30%	96.39%	未実施	
			目標 ()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	例年、与那原大綱曳まつり等でのアンケート調査を実施し、指標実績を算出するが、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止等の影響により、各種イベントが自粛されたため、アンケート調査が実施できなかったため、指標実績を算出することができなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度と比較して、作業員6名と人員を縮小したが、天候等も考慮し草刈・清掃箇所を効率的に実施することができた。 会計年度任用職員の報酬費、共済費、職員手当などの予算の執行管理をしっかりと行えたため、執行率99%以上を達成できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 草刈・清掃箇所については、道路や歩道沿いとなっていることから、安全面にも考慮しながらできるだけ効率よく実施できるように引き続き工夫していく必要がある。 予算に関して、必要額・不用額について早めに判断し、早い時期での事業計画の変更等を行うことが必要である。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 草刈・清掃等の作業について、安全面等に考慮しながら、引き続き効率的に実施する。 予算の執行管理を徹底し、高い執行率を維持していく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○作業員の選定については、面接により選定し、条例・規則に基づき任用しており妥当であると判断している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算の執行率が99.4%となっていることから適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について、事業目的の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		与那原町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	きめ細かな児童生徒支援事業(小学校・中学校)			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア	
担当部署名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	学習の遅れ気味な児童生徒に対し、学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。 特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。 特別な支援を要する不登校の児童生徒に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a)当初予算額	91,130	90,911	74,887	79,091	69,280
	(b)予算現額	71,110	78,313	72,119	66,392	63,396	
	(c)増減額(b-a)	▲20,020	▲12,598	▲2,768	▲12,699	▲5,884	
	(d)繰越額						
	A.計(b+d)	71,110	78,313	72,119	66,392	63,396	
	B.執行済額	66,930	75,305	65,949	60,423	60,791	
	うち交付金充当額	53,544	60,244	52,758	48,338	48,633	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	94.1%	96.2%	91.4%	91.0%	95.9%	
予算の状況の説明	不用額は、新型コロナウイルス感染症の影響により休校となったため、欠員期間・出勤実績による減額及び予定していた委託事業(放課後学習支援)の中止のため						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	学習支援員13名配置	目標	(21名)	(18名)	(18名)	(13名)	
		実績	20名	18名	18名	13名	
	特別支援教育支援員15名配置	目標	(24名)	(16名)	(17名)	(15名)	
		実績	24名	16名	17名	15名	
	スクールカウンセラー1名配置	目標	(1名)	(1名)	(2名)	(1名)	
		実績	1名	1名	2名	1名	
	特別支援教育コーディネーター1名配置	目標	(1名)	(1名)	(1名)	(1名)	
		実績	1名	1名	1名	1名	
放課後学習支援員4名配置	目標	(4名)	(4名)	(4名)	(4名)		
	実績	4名	4名	4名	0名		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員等の配置は、概ね目標を達成することができたが、通年での配置は出来なかった。 ・特別支援教育コーディネーターは定期的に学校訪問し、気になる児童生徒の指導方法の改善に関する助言等を行った。 ・スクールカウンセラーは定期的に学校訪問し、児童生徒の教育相談、保護者との面談等を行った。 ・学習支援員は授業で担任の指導の下、児童生徒に対して学習支援、補習指導を行った。 ・特別支援教育支援員は、気になる児童生徒の学習支援や学校生活支援を行った。 ・放課後学習支援員は、新型コロナの影響で児童館への学生学習支援員の派遣が困難となり中止とした。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:県との差0.3ポイント以上 中学校:県との差0.9ポイント以上	目標	()	(小学校+0.3 中学校+5.4)	(小学校+0.3 中学校+2.3)	(小学校+0.3 中学校+0.9)	()
		実績	/	小学校+0.8 中学校+0.9	小学校-1.2 中学校-0.4	小学校-3.3 中学校-4.4	/
	不登校児童生徒復帰率 10%以上	目標	()	(復帰率 10%以上)	(復帰率 10%以上)	(復帰率 10%以上)	()
		実績	/	復帰率8.5%	復帰率8.9%	復帰率11.9%	/
「特別支援教育支援員の対応への満足度」(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()	
	実績	/	97.8%	97.8%	98.30%	/	
<small>小学校・中学校ともに「沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差」の目標値を達成することができなかった。 「不登校児童生徒の復帰率10%以上」については、11.9%となり、目標を達成した。 保護者の特別支援員への満足度は98.2%となり、目標を達成した。</small>							

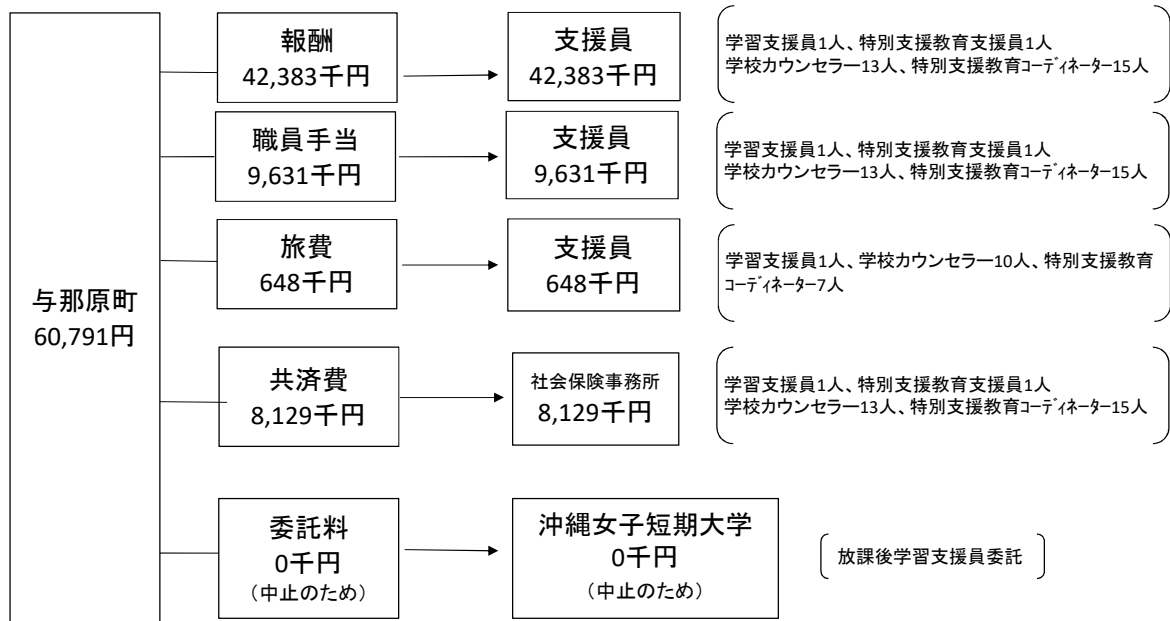
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の平均正答率の差内訳は、国語-10.4P、算数-1.4Pとなっており、国語の差がポイントを下げた要因となっている。 ・中学校の平均正答率の差内訳は、国語0.4P、英語-4.6P、数学-9.2Pとなっており、英語、数学の差がポイントを下げる要因となっている。 ・不登校について、目標を達成しており不登校縮減に繋がっている。 ・保護者からの満足度も98.8%と高い水準を図っており問題ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・TT体制(Team Teaching)の見直し。苦手教科への取り組みを強化するなど、教員との連携のもと、学習内容についても積極的に関わり、より効果的な学習支援に努める。 ・不登校について、改善が見られ不登校児童の解消につながっているが、さらなる地域や関係機関と連携する手法について検討する必要がある。 ・安定した学習環境作りのために、子ども達を理解している支援員の継続して勤務してもらえるような環境づくりをしていく必要がある。

今後の取り組み方針

- ・学習支援員の指導力の向上。町教委主催の支援員研修だけでなく、教科担任と学習支援員の打合せや授業検討会の場等を設ける。
- ・不登校を未然に防ぐため、学習支援員や特別支援教育支援員の活用を検討する。また、学校だけではなく、地域や関係機関と連携する手法について検討する。
- ・学習支援員及び特別支援教育支援員のより良い勤務環境の検討を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
60,791	60,791	48,633	12,158	0



資金の流し、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員については、応募者を面接により選定し、「与那原町臨時職員に関する規則」(与那原町教育委員会嘱託員設置規程)に基づき、任用しており妥当であり、業務委託については、児童生徒の学習規律の定着と次世代の人材育成を目的としている為、地方自治法第167条の2第1項第2号を適用し、本町にある短期大学と随意契約により選定しており妥当であると判断している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○必要に応じて予算の減額を行うなど適正な執行管理に努めたが、新型コロナウイルスの影響により事業費の5%を超える不用額が生じた。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的に必要であり、合致している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那原町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	国際理解人材育成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童の国際的感覚や視点を身に付けることで、外国語への興味・関心を高め、人材育成へ繋げる為に、英語指導助手を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,662	12,267	9,320	8,816	10,416
		(b) 予算現額	9,403	12,267	7,752	8,455	10,487
		(c) 増減額(b-a)	▲ 259	0	▲ 1,568	▲ 361	71
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		9,403	12,267	7,752	8,455	10,487
	B. 執行済額		9,400	12,263	7,405	8,232	10,311
	うち交付金充当額		7,520	9,810	5,923	6,585	8,248
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	95.5%	97.4%	98.3%
予算の状況の説明		当初計画では、費用弁償を最低基準額で組んでいたが、勤務者の通勤が長距離だったため予算増となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	HR1年度	HR2年度	
	英語指導助手 3名配置		目標 (2名)	(2名)	(2名)	(3名)	
			実績	2名	2名	7時間45分:2名 6時間:1名	7時間:2名(12月) 7時間:1名(6月)
	英語指導講師派遣		目標 ()	()	(1名)	()	
		実績		0名			
達成状況説明	英語指導助手を計3名(うち2名は12か月間、うち1名は6か月間)を雇用した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	72.5%	60.4%	68.2%	
			目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	児童へのアンケートを行った結果「外国語への興味・関心が高まった」と回答した児童は68.2%と目標を下回った。						

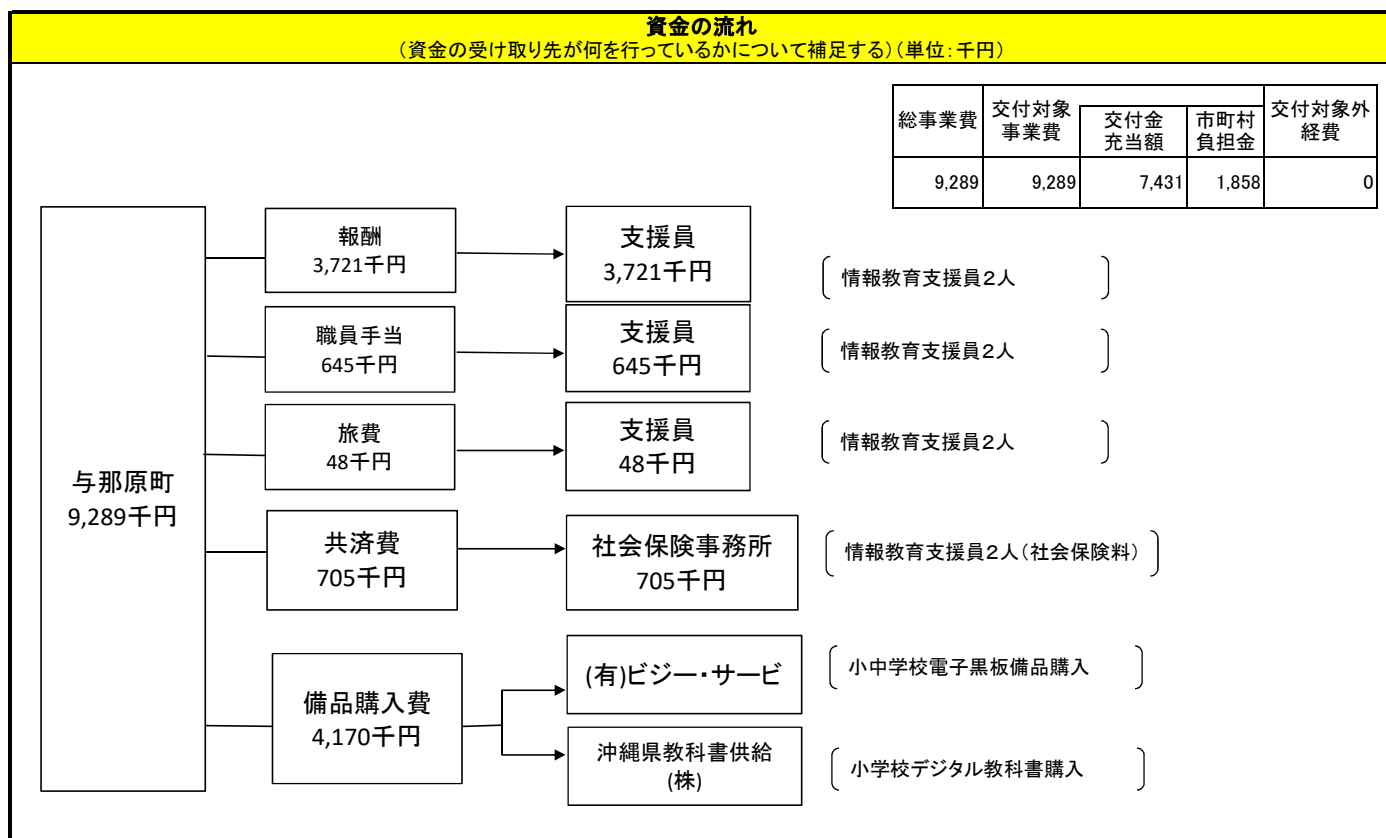
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	アンケートは、小学校3年生及び5年生に行った。 「外国語への興味・関心が高まった」と回答した児童の内訳は、3年生が78.7%、5年生が56.7%だった。	5年生の回答において関心が3年生より低くなる傾向があり、改めて5年生に対し外国語授業に対する改善点の確認が必要
今後の取り組み方針		
外国語授業における児童の要望や不安・不満を確認し、授業の方法等の効率化を図る。		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	10,311	10,311	8,248	2,063	0
与那原町 10,311千円	報酬 7,539千円	→	支援員 7,539千円	〔英語指導助手3人〕	
	職員手当 1,252千円	→	支援員 8,920千円	〔英語指導助手3人〕	
	旅費 129千円	→	支援員 129千円	〔英語指導助手3人〕	
	共済費 1,391千円	→	社会保険事務所 1,391千円	〔英語指導助手3人(社会保険料)〕	
資金の 用途の 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○英語指導助手については、面接により選定し、「与那原町教育委員会嘱託員設置規程」に基づき、任用しており妥当であると判断している。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目・用途については事業目的に必要であり、合致している。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。			

市町村名		与那原町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④ 学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア			
	担当部課名	学校教育課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	国際社会、情報社会に対応した教育の推進	
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)			
事業内容	児童生徒の学力向上及び人材育成の為に、わかりやすい授業を行う為のタブレットを整備する。教師のICTを活用した授業支援及び児童生徒のICT活用を支援する為に、情報教育支援員を各小学校へ配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	49,611	16,076	6,987	6,708	11,107
		(b) 予算現額	63,133	16,052	6,987	9,228	9,355
		(c) 増減額(b-a)	13,522	▲ 24	0	2,520	▲ 1,752
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	63,133	16,052	6,987	9,228	9,355
	B. 執行済額		62,183	15,163	6,687	9,077	9,289
	うち交付金充当額		49,746	12,131	5,349	7,261	7,431
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.5%	94.5%	95.7%	98.4%	99.3%
予算の状況の説明		電子黒板の入札、デジタル教科書が予算額より安価だったため、予算減となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	情報教育支援員 2人配置	目標	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)	
		実績	2人	2人	2人	2人	
	電子黒板一式(小学校3台)	目標	(2小学校増設クラス)	()	(2小学校(2台) 1中学校(1台))	(1小学校(3台))	
		実績	2小学校増設クラス		2小学校(2台) 1中学校(1台)	1小学校(3台)	
	夏休みのパソコン講座実施(10回)	目標	(10講座 受講生80名)	(10講座 受講生80名)	(10講座 受講生80名)	()	
		実績	12講座 受講生205名	12講座 受講生159名	12講座 受講生80名		
	【参考指標】 タブレット(2小学校、1中学校)	目標	(2小学校(50台) 1中学校(30台))	(2小学校(30台) 1中学校(10台))	()	()	
		実績	2小学校(50台) 1中学校(30台)	2小学校(30台) 1中学校(10台)			
【参考指標】 指導者用デジタル教科書一式	目標	()	()	(2小学校(一式×2))	(1中学校(一式×1))		
	実績			2小学校(一式×2)	1小学校(一式×1)		
達成状況説明		情報教育支援員を2小学校に1名ずつ計2名配置し、計画的に情報教育の指導に活用した。 計画通り、小学校に電子黒板計3台の整備を行った。 計画通り指導者用デジタル教科書を整備した。					

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (年度)	
	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	目標	()	(80.0%)	(80.0%)	(80.0%)	()
		実績		92.0%	95.1%	93.9%	
	教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上	目標	()	(80.0%)	(80.0%)	(80.0%)	()
実績			100.0%	100.0%	92.3%		
児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかった割合は、93.9%と目標値を上回った。教員にアンケートを実施、ICT機器の習熟度は92.3%と目標値を達成したが前年より下回った。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・予定通り電子黒板の整備を行ったが、特別支援学級の増加により電子黒板が不足している学級があるため学びの環境に差が発生している。 ・児童生徒の理解度は維持できていると考えられる。教職員についても維持できているが一部の教職員において支援が必要である。 	<p>学びの環境を整えるためすべての教室に電子黒板の整備を行う。</p> <p>児童生徒の理解度にあつた指導が必要となると考えられ、教員間による情報共有・情報支援員の実践的な指導がより必要になると考えられる</p>
今後の取り組み方針		
GIGAスクールにより一人1台端末を使った授業環境が整う見込みのため、情報教育支援員をより活用する支援体制の検討を行う。		



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員については、応募者を面接により選定し、「与那原町教育委員会嘱託員設置規程」に基づき、任用しており妥当であり、備品購入については、指名競争入札により選定しており妥当である。 ○不用額は事業費の5%以下であり概ね適正な規模であったと判断した。 ○費目・使途については事業目的に必要であり、合致している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		与那原町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	ほっとハート子育て応援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ	
担当部署名	子育て支援課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実 Ⅲ-4	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 0歳児の待機児童の解消を目的とする。定員増による安全性の確保をしつつ、良好な保育環境を維持するために看護師を配置する。 看護師を雇用し、0歳児を10人以上受け入れる保育園に対し、雇用経費の一部を助成する(月額上限 50千円)。 						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	2,100	2,700	3,000	1,200	600
	(b) 予算現額	1,800	1,800	950	600	600	
	(c) 増減額(b-a)	▲300	▲900	▲2,050	▲600	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	1,800	1,800	950	600	600	
	B. 執行済額	1,678	1,750	700	600	600	
	うち交付金充当額	1,342	1,400	560	480	480	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	93.2%	97.2%	73.7%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	・確実に事業実施できる施設を事前調査。よって、当初予算額とおりの全額執行となっている。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	・認可保育園への看護師配置8施設中1施設(1名配置)	目標	(5施設)	(2施設)	(1施設)	(1施設)	
		実績	3施設	2施設	1施設	1施設	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	・目標通り、1施設に看護師を配置することが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	・看護師を配置したことによる0歳児待機児童解消数3人以上	目標	()	(6人以上)	(3人以上)	(3人以上)	()
		実績		6人	3人	3人	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・本事業により看護師を配置した保育園では、3人の待機児童解消に繋がった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の検証を踏まえ、准看護師の採用を促したが、応募状況が芳しくなかった。 ・医療機関と賃金面を比較すると、保育所での勤務を選択する者は少ないと思われる。 ・興味はあるが、保育士としての技量に不安を感じている者もいると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師等の募集方法等について、検討する必要がある。 ・看護師等の処遇面について、改善が必要である。 ・看護師等が安心して働ける職場環境づくりを行う必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・各園において、准看護師も含めた求人を促す。 ・各園において、看護師等の特殊手当等の加算について検討を促す。 ・各園において、看護師等に対するスキルアップ研修の取組を検討し、求人情報に研修の存在を記載するようを促す。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付対象		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
600	600	480	120	0

```

graph LR
    A[与那原町  
600千円] --> B[補助金  
600千円]
    B --> C[コスモス保育園  
600千円]
    C --- D[看護師等の雇用費用]
  
```

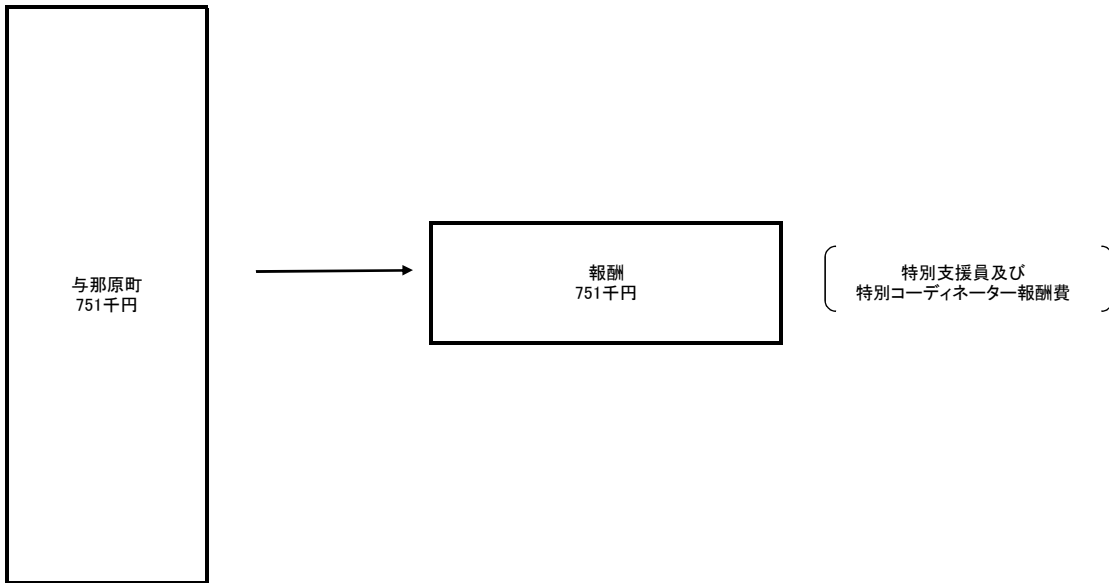
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定は、補助金交付規則に基づき、町内すべての法人認可保育園へ周知し、事業実施保育園を選定しているので妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模(補助金額)についても保育士給与と看護師給与の差額(月額5万円程度)となっており、適正な予算規模である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途は、保育園からの支出書類(給与明細)等を確認しており、事業目的に即した真に必要なものに限定されている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		与那原町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	公立幼稚園保育環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ	
担当部署名	子育て支援課	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実 Ⅲ-4	
事業内容	保護者の負担軽減を図るため、公立幼稚園における延長保育を実施する。延長保育に伴い必要となる給食を安心・安全に提供するため、配膳支援員を配置する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a)当初予算額	18,150	12,972	1,170	886	1,177
	(b)予算現額	18,150	11,674	1,170	886	890	
	(c)増減額(b-a)	0	▲1,298	0	0	▲287	
	(d)繰越額						
	A.計(b+d)	18,150	11,674	1,170	886	890	
	B.執行済額	17,886	11,569	432	764	751	
	うち交付金充当額	14,308	9,255	345	611	601	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	98.5%	99.1%	36.9%	86.2%	84.4%	
予算の状況の説明	年度途中には退職などにより執行状況が低い月もあったが、最終的には概ね予定通り80%以上執行することが出来た。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	公立幼稚園2園に配膳支援員を配置し、給食時を安心安全に供給する。	目標	(3名配置)	()	()	(4人)	
		実績	3名配置			4人(1人途中退職)	
	【参考指標】公立幼稚園2園5クラスに配膳支援員を配置し、給食時を安心安全に供給する。	目標	()	(7クラス)	(5クラス)	()	
実績			4クラス	5クラス			
達成状況説明	当初は目標通り4名の配膳支援員を配置する事が出来たが、コロナ等の影響により今まで通り働く事が難しい中で年間を通しての目標は達成出来なかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	・保護者へのアンケート調査を実施し、「配膳支援員の配置により保護者の負担軽減が図られたか」(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		71%	79%	100%	
	・保護者へのアンケート調査を実施し、「小学校教育への円滑な接続が図られそうか」(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	()	(80%)	()
実績					88%		
進捗状況説明	令和2年度は本事業の目的を見直し、アンケート改善を行った事により、「保護者の負担軽減」部分については満足度100%、「小学校教育への接続」部分では満足度88%を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・配膳支援員の配置について、最終的には目標としていた人員を配置する事が出来たが、新型コロナの影響による支援員の途中退職があり年間を通して配置する事が出来なかった。</p>	<p>・年長の園児が年下の園児をサポートする習慣が定着したことにより、配膳支援員を配置しなくとも食事時の安全が確保され本事業の目的を達成したため、次年度継続はしない。</p>
今後の取り組み方針		
・次年度継続無し		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
751	751	601	150	0



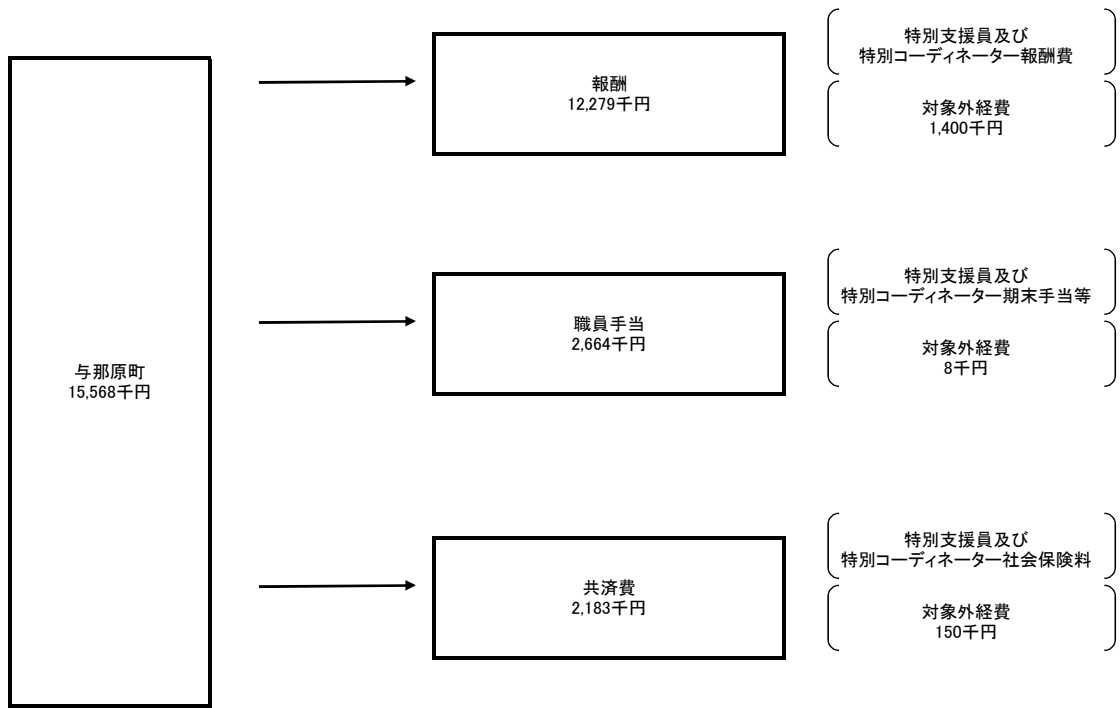
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・支援員の任用については、応募者を面接により適任者を選定したうえで、会計年度任用職員の任免に関する町の例規に基づき任用しており妥当。</p> <p>・予算規模については、前述の例規に基づき算定しており、適正な規模である。</p> <p>・費目・使途については、事業目的に必要であり合致している。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那原町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	きめ細かな児童生徒支援事業(幼稚園)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-7		
担当部署名	子育て支援課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進		
事業内容	特別な支援を要する児童に対し支援することにより、幼稚園における集団生活での対応や先に控える小学校生活へのスムーズな促しを図るために個に応じたきめ細かな支援を行う為の特別支援教育支援員及び特別支援コーディネーターを配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,291	21,027	18,226		
		(b) 予算現額	17,097	20,079	17,420		
		(c) 増減額(b-a)	4,806	▲ 948	▲ 806		
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		17,097	20,079	17,420		
	B. 執行済額		15,882	17,868	15,568		
	うち交付金充当額		12,705	14,295	12,455		
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		92.9%	89.0%	89.4%		
予算の状況の説明		年間を通して特別支援員及び特別支援コーディネーターを配置する事が出来たが、コロナ感染症対策による臨時休園を行った為、予算の減額や対象外経費が発生し執行率89%となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	・特別支援教育支援員9名配置 ・特別支援コーディネーター1名配置		目標 ()	(12人)	(12人)	(10人)	
			実績		12人	11人	10人
			目標 ()	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	R2年度は当初活動目標通り、年間を通して支援員の配置をする事が出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	・対象となる園児の保護者へのアンケート調査を実施し、「特別支援員の対応への満足度」(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	94%	100%	100%	
			目標 ()	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	特別支援員の対応への保護者の満足度100%と、目標を達成した。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と園児の家庭での様子など情報の共有を密に行い、園児の特性や園生活でのトラブル等の解決方法など会議等を重ねて適切な支援に取り組んだ事により、目標を達成することが出来た。 一方で、支援員と担任との役割分担が曖昧になる事や、支援員相互の経験や考え方の違いにより、偏った支援や園児の特性に合わない支援をしてしまうことが見受けられたため、役割分担の明確化や園児の特性にあった支援の統一化など園内研修を強化する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門的な講師を招いての園内研修や、支援員の役割についてのマニュアル等を作成及び共有する事でトラブル等を改善する事が出来る。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き保護者と情報共有を密に行う事で園児の特性を知る事が出来、不得意な部分を克服する為の適切な支援を継続出来るよう取り組む。 支援についての勉強会を行い、専門的な知識の向上に繋げる事が出来るように取り組む。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
17,127	15,568	12,455	3,113	1,558



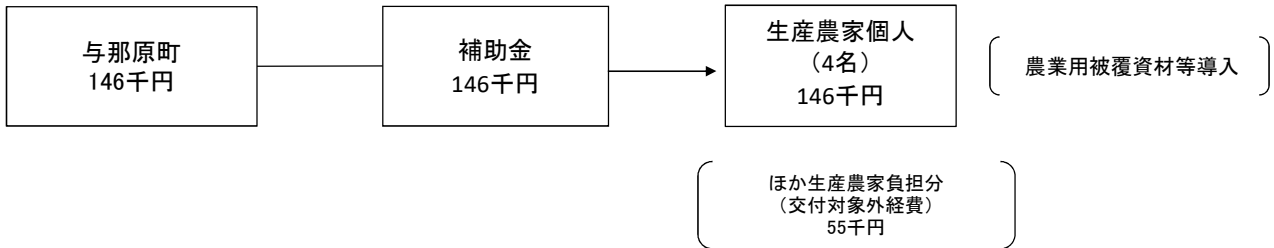
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 支援員の任用については、応募者を面接により適任者を選定したうえで、会計年度任用職員の任免に関する町の例規に基づき任用しており妥当。 予算規模については、前述の例規に基づき算定しており、適正な規模である。 費目・使途については、事業目的に必要であり合致している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那原町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	農業用被覆資材等導入推進補助事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-(ア)		
担当部署名	まちづくり課	事業実施(予定)年度	平成29~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	沖縄では、地理的な要因により、台風の影響、塩害、強い日射等により農作物に大きな被害がでている。その為、台風等による自然災害の被害軽減を図るとともに、病害虫の発生を抑制するための農業用被覆資材等を導入する経費に対して補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	0	1,000	1,000	500	300
		(b) 予算現額	0	1,000	1,000	500	151
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	▲149
		(d) 繰越額	-	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		0	1,000	1,000	500	151
	B. 執行済額		0	716	566	244	146
	うち交付金充当額		0	572	453	194	117
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		0.0%	71.6%	56.6%	48.8%	96.7%
予算の状況の説明		・不用額154千円は、本補助を利用したの被覆資材購入希望者が少なかった為である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	台風等の自然災害、病害虫等の被害軽減を図るため被覆資材導入推進を図る。		目標 (7件)	(8件)	(7件)	(3件)	
			実績 6件	7件	4件	4件	
達成状況説明	目標		()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明		・台風等の自然災害や病害虫等の軽減により、ビニールハウスやネット等を設置する農家に補助を行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	ゴーヤ出荷量(単位:kg)		目標 ()	ゴーヤ2,500	ゴーヤ2,562	ゴーヤ2,611	()
	マンゴー出荷量(単位:kg)			マンゴー1,300	マンゴー4,695	マンゴー4,785	
	実績			ゴーヤ1,885kg マンゴー2,805kg	ゴーヤ888kg マンゴー4,182kg	ゴーヤ1,101kg マンゴー2,298kg	
目標		()	()	()	()	()	
実績							
進捗状況説明		ゴーヤは、R2年度目標2,611kgに対し、1,101kgの実績で1,510kg目標に達しなかった。マンゴーについては、R2年目標4,785kgに対し、2,298kgと2,487kgと大幅に目標を下回った。R2年度は、沖縄本島直撃の台風8月に3回あり、勢力の強い台風が接近した。また病害被害の報告も多数あった。 ゴーヤや、マンゴーは、天候や病害で単年度の出荷が流動的である為、令和2年度は生産減となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄本島に頻繁に接近する台風に備えた防風対策が不十分だった。 ・ミツバチの着果時期の気温が低く、花粉の動きが鈍ったため実が出来にくかった。 ・病害被害の報告も多数あった(JAからの聞き取り)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハウスの防風ネット設置やハウスを守る防風柵等の風対策を考慮した施設導入の検討が必要。 ・防風対策に加えて、今後は高温対策を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・農家やJAとの調整も踏まえながら、防風対策に必要な資材等の検討と台風時に被害を最小限にする方策等を検討し、農家に周知する。 ・水管理の徹底や遮光資材の導入等の高温対策について、農家及びJAと連携して協議する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費		交付対象外経費	
	交付金充当額	市町村負担金		
201	146	117	29	55



資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託および施工の受注業者は指名競争型入札により選定しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%未満であり、概ね適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については、補助金交付規則に定める補助率に基づいており、負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書

市町村名		与那原町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-① 災害対策備蓄整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-(イ)		
	担当部署名	生活環境安全課	事業実施(予定)年度		平成28~令和2年度	災害に強い県土づくりと防災体制の強化	
事業内容		避難施設における被災者の長期避難生活を想定し、非常用食料、寝具類等を計画的に整備し、災害に強いまちづくりの実現を図る。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	3,678	1,004	1,304	1,847	1,165
	(b) 予算現額	3,678	1,292	1,304	1,004	1,165	
	(c) 増減額(b-a)	0	288	0	▲ 843	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	3,678	1,292	1,304	1,004	1,165	
	B. 執行済額	3,591	1,088	1,059	1,000	1,015	
	うち交付金充当額	2,872	870	846	799	812	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	97.6%	84.2%	81.2%	99.6%	87.1%	
予算の状況の説明		令和元年度より観光客に特化した内閣府沖縄総合事務局補助事業「沖縄観光防災力強化支援事業」が設立され観光客に関する備蓄分を削減した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	・非常用食料	目標	(1680食)	(1680食)	(1160食)	(1160食)	
		実績	1680食	1680食	1160食	1160食	
	・粉ミルク	目標	(14箱)	(14箱)	(14箱)	(14箱)	
		実績	14箱	14箱	14箱	14箱	
	・粉ミルク(アレルギー対応)	目標	(1缶)	(1缶)	(1缶)	(1缶)	
		実績	1缶	1缶	1缶	1缶	
	・保存水	目標	(1032本)	(1032本)	(768本)	(768本)	
		実績	1032本	1032本	768本	768本	
	・発熱セット	目標	(27セット)	(27セット)	(27セット)	(27セット)	
		実績	27セット	27セット	27セット	27セット	
	・発熱剤	目標	(100個)	(100個)	(100個)	(100個)	
実績		100個	100個	100個	100個		
・使い捨て哺乳瓶セット	目標	(27セット)	(27セット)	(27セット)	(27セット)		
	実績	27セット	27セット	27セット	27セット		
・経口補水液パウダー	目標	()	()	()	(3箱)		
	実績				3箱		
・ビスケット	目標	()	(5箱)	()	()		
	実績		5箱				
		・非常用食料等を目標通りに整備できた。 ・最終的に「与那原町災害対策備蓄整備計画(H28年度~R2年度)」にて設定した非常用食料数を整備できた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(H27年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R2年度)
	一時避難者備蓄食料カバー率 R2年度備蓄食料カバー率100% (R1年度備蓄食料カバー率80%)	目標	(未整備)	(備蓄食料 1680食)	(備蓄食料 1160食)	(備蓄食料 1160食)	(整備完了)
		実績		備蓄食料 1680食	備蓄食料 1160食	備蓄食料 1160食	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・非常用食料等を目標通りに1160食整備できた。 ・最終的に「与那原町災害対策備蓄整備計画(H28年度~R2年度)」にて設定した非常用食料数を整備(カバー率100%達成)できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	【今後懸念される問題点等】 ・マリンタウン地区への大型MICE施設や国道バイパス整備に伴う利便性の向上により、来訪者、就労人口及び町人口の増加が想定され、災害時の避難者数の増加する見込みがある。 ・備蓄食料の賞味期限は最長で5年であるため、賞味期限が切れた食料等の入替が必要となってくる。	・人口増加、入れ替えが必要な食料品等数を検証分析し、それを踏まえた災害対策備蓄計画の策定が必要となる。
今後の取り組み方針		
・人口増加、入れ替えが必要な食料品等数を検証分析し、それを踏まえた災害対策備蓄計画の策定を行う。 ・新たな災害対策備蓄計画での計画的な整備を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,015	1,015	812	203	
<pre> graph LR A[与那原町 1,015千円] --> B[需要費 1,015千円] B --> C[株式会社 善林堂 1,015千円] C --- D[備蓄品及び食料の購入] </pre>				

資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受注業者は指名競争入札により選定しており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○複数業者見積を参照として積算しており、予算規模は適正である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○納品検査を実施し費目・使途は事業目的に即し真に必要なものに限定されている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那原町							
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-①	新しい公共交通検討事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(7)-ウ		
担当部署名	福祉課	事業実施(予定)年度	令和元～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	人に優しい交通手段の確保		
事業内容	高齢者や障がい者の交通弱者に配慮した移動手段を確保するため、福祉型町内バスの導入検討の可否を検討するために実証実験を行う。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	5,801	9,526				
		(b)予算現額	5,005	8,687				
		(c)増減額(b-a)	▲796	▲839	0	0	0	
		(d)繰越額	—	—				
	A. 計(b+d)		5,005	8,687	0	0	0	
	B. 執行済額		4,458	7,860				
	うち交付金充当額		3,565	6,288				
	次年度繰越額		0	0				
	執行率(%) (B/A)		89.1%	90.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		運行実績(コロナウイルス感染防止対策として運行休止期間も含む)に伴い、職員手当等24千円、報償費307千円、需用費480千円を減額した。また、コース変更やバス停追加の周知に伴い郵送代を増額したが、携帯料金の不用等により役員費28千円を減額した。不用額827千円は、コロナ感染防止対策による運行休止措置により、不用となった人件費及び需用費の差額等である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	福祉型町内バスの実証実験の実施		目標	(実証実験実施)	(実証実験実施)	()	()	
			実績	実証実験実施	実証実験実施			
			目標	()	()	()	()	
			実績					
達成状況説明	令和元年度から引き続き、町内バス実証実験を実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	需要や課題等の実態把握(令和3年度まで事業実施予定)		目標	()	(実態把握)	(実態把握)	()	()
			実績		実態把握の完了	実態把握未完了		
			目標	()	()	()	()	()
			実績					
	進捗状況説明	今年度はコースを変更して運行したところ1日あたりの利用者が増え一定の成果はあったものの、コロナウイルスによる緊急事態宣言中の運行休止も多く、本格導入を検討する為の十分な数の意見を収集できなかったため、実態把握の完了には至らなかった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は1周あたりの時間が長いとの意見が多かったため、コースを東西に分け乗り換え地点を設けて所要時間を短縮(2時間半を1時間10分へ)するとともに、町内をくまなく移動できる様になったことで利用が増え、利用しやすくなったという意見もあった。 ・コロナウイルスによる緊急事態宣言中の運行休止が多く、本格導入を検討する為の十分な実態把握ができなかったため、令和3年度も引き続き実証実験を行う。 	利用度によるバス停の統廃合やコース・運行時間の更なる見直しなど利便性を高めるための検討を行うとともに、コロナ禍が継続していることを踏まえた車内の感染症対策や運行方法を検討する。
	今後の取り組み方針	
令和3年度においても、新たなバス停・コースの検証や利用者等へのアンケートも実施し、引き続き本事業を継続し実証実験を行う。実証実験期間中のアンケートや意見を集約し、その結果や乗車数をもとに、本格導入に向けての需要や課題等の実態把握を行い、本格導入の可否を検討する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																
		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">総事業費</th> <th rowspan="2">交付対象事業費</th> <th colspan="2">交付対象</th> <th rowspan="2">交付対象外経費</th> </tr> <tr> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">7,884</td> <td style="text-align: center;">7,860</td> <td style="text-align: center;">6,288</td> <td style="text-align: center;">1,572</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> </tbody> </table>			総事業費	交付対象事業費	交付対象		交付対象外経費	交付金充当額	市町村負担金	7,884	7,860	6,288	1,572	24
総事業費	交付対象事業費	交付対象		交付対象外経費												
		交付金充当額	市町村負担金													
7,884	7,860	6,288	1,572	24												
与那原町 7,860千円	給与 3,529千円	会計年度任用職員(2名) 3,529千円 (ほか、欠勤分(交付対象外経費) 24千円)	〔バス運転手(2名×12カ月)〕													
	職員手当 885千円	期末手当(2名) 666千円 退職手当(2名) 219千円	〔バス運転手(2名×12カ月)〕													
	共済費 804千円	社会保険料(2名) 268千円 共済組合負担金(2名) 536千円	〔バス運転手(2名×12カ月)〕													
	報償費 30千円	個人(30千円)	〔代替運転手〕													
	需要費 860千円	かねひで鋼材 731千円 メイクマンニューマン店 16千円 (有)沖広販 51千円 ゆい工房 29千円	〔燃料費(車両2台×10月)※8月、2月はなし〕 〔ラミネートフィルム、バス停シール等消耗品〕													
		次郎工業 33千円	〔バス車両点検2台〕													
	役務費 71千円	郵送料 71千円	〔コース変更案内郵送料〕													
	使用料 1,681千円	(株)琉球リース 1,681千円	〔バス車両2台〕													
資金の 用途の 流れ、 点検 評価・ 費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○バス運転手の任用は、応募者を面接により適任者を選定したうえで、会計年度任用職員の任免に関する町の例規に基づき任用しており妥当である。													
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○複数業者の見積りを参考にしており、適正な規模であった。													
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途については、事業目的に必要なものにおいて支出しており、適正であった。													
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。														